

大坪徹紀副会長が「筑紫野市自治功労表彰」を受賞

令和3年度筑紫野市表彰式が行われ、当協会の副会長である大坪徹紀氏（66 阿志岐）が長年にわたる体育協会役員としての活動及び少年野球の指導等により、自治功労表彰を受賞しました。

副会長は、平成21年より12年間にわたって筑紫野市体育協会の副会長として現在に至っています。少年野球では筑紫サンデーリーグの副理事長をはじめ筑紫野サターズ代表、そして、市スポーツ少年団副本部長、市スポーツ推進委員と多くの役職を務められ現在も少年野球を通じて青少年の健全育成に大きく寄与されています。

この受賞を契機として更なるご活躍とご指導をお願いします。

「大坪副会長、受賞まことにめでとうございます。心よりお慶び申し上げます！」

一般社団法人筑紫野市体育協会 2021.11.17

【本人の談話】

筑紫野市はじめ関係者の皆様、表彰していただきありがとうございました。筑紫野サターズで30年以上にわたってコーチ、監督、代表として活動してきました。

『サターズ』とは悪魔と思われがちですが、意味は太陽系の惑星である『土星』です。子ども達を中心として周りの環（和）がみんなで見守り育てていくとの思いでチーム名としています。

少年野球は、楽しく・厳しく”子どもが一番、一番の宝”として今後も継続していきます。

「30年位のお世話であり大したことはないですよ。まだまだこれからです！」



左:藤田市長、右:大坪徹紀氏